

令和2年度 学校目標（全日制）

	視 点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取 組 の 内 容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①探究活動、体験活動、研究活動を充実させ、生徒一人ひとりの個性をいかした教育課程を編成するとともに、主体的な科目選択ができる系と分野のシステムを充実させる。 ②創造力、推進力、発信力の育成と学習習慣を確立させ、生徒一人ひとりが積極的に自己を伸長させるための学習を支援する。	①生徒一人ひとりの個性をいかし、創造的な活動ができる人材を育成するために、新学習指導要領に基づいた教育課程を編成する。 ②学習習慣を定着させ、生徒一人ひとりの主体的な学びを支援するために、組織的な授業改善を進める。	①各系、分野の施設設備を活用し、専門教育を充実させ、自ら課題を解決する力を育む。 生徒の現状や関心に即し、単位制、2学期制の特色を活かした教育課程を編成する。 ②生徒が主体的に学べるよう、研究授業や校内研修会を実施し、授業改善を図る。	①課題に対して自ら解決策を講じ、積極的に取り組んでいたか。 新学習指導要領の施行に向けた教育課程の編成ができたか。 ②外部講師を招いた研究授業や校内研修会を実施したか。また、「生徒による授業評価の3、4が90%以上になったか。
2	生徒指導・ 支援	①生徒一人ひとりの豊かな人間性を育み、生徒理解に基づく生徒指導や教育相談体制を充実させる。また、安心して安全に希望をもって学べる学校をつくる。 ②生徒の主体性の育成に向け、学校行事や生徒会活動等を充実させる。	①生徒一人ひとりの多様性を踏まえた校内支援体制の推進を図り、安心して安全な、明るく活力のある学校をつくる。 ②学校行事や委員会活動において、生徒が主体的に企画・運営を行えるようにする。	①年次会を核とした情報交換の徹底と関係グループとの連携により、生徒の様々な相談や問題に対応できる組織づくりを行う。 関係グループと連携し、挨拶の励行や規範意識の向上を図る。 ②行事運営に生徒の発想を取り入れ、主体的に活動することにより、生徒会活動をさらに活性化させ、充実を図る。	①年次会やケース会議、いじめ対策会議、関係グループとの連携により、生徒の状況を適切に把握し、相談や問題へ組織的に対処できたか。 安全で安心な学校生活に向けた取組及び生徒の規範意識向上に向けた取組を充実させることができたか。 ②各行事の事後アンケートで生徒の満足度が80%以上になったか。
3	進路指導・ 支援	社会で生きるために必要な知識や能力を身につけるとともに、個々の進路希望を実現させるための支援とキャリア教育を充実させる。	生徒一人ひとりの主体的な進路指導選択を実現するために、キャリア教育及び進路支援体制を推進する。	生徒の進路意識を高め、進路実現できるように面談や各種ガイダンスを適切に実施し、支援を行う。 「総合的な探究の時間」を活用し、自己のあり方、社会とのかかわりについて考える機会を設ける。 計画的なアセスメント及びインターンシップなどを実施する。	生徒の進路実現をかなえるような支援を行い、卒業時の進路決定率を100%に近づけたか。 自己の進路について考える機会をもたせることができたか。 自己の進路について考える生徒が増えたか。 進路実現に資する模試の実施割合が、実施計画に対して80%以上実施することができたか。 インターンシップに参加した生徒に行ったアンケート結果の「満足できる」が、80%以上になったか。
4	地域等との 協働	①積極的なボランティア活動を展開し、地域の小中学校や自治会など近隣地域との連携を深め、地域に根ざした教育活動を推進する。 ②学校の情報を広く地域に発信し、地域に開かれ、地域と共にある学校づくりをさらに進める。	①コミュニティ・スクールを利活用するとともに、地域および他校間との連携を図り、生徒一人ひとりの主体性を育成する。 ②地域の方がホームページにアクセスしやすい工夫をし、学校の情報を広く広報する。	①地域の小学校（2校）と連携し行っている高校授業体験について、小学校の意見を参考に方法や内容を精査しより良いものとなるように検討する。 学校周辺に重点をおき、交通安全啓蒙活動等の取組を推進する。 ②ホームページ運用を学校全体で取り組む。	①高校授業体験に対し、小学校の理解を得られ、次年度につながるものが出来上がったか。 地域や外部と連携した交通安全啓蒙活動を実施し、生徒の交通事故件数及び登下校に関する苦情件数を無くすことができたか。 ②ホームページ運用を学校全体で行い、更新回数が40件を超え、昨年度の更新回数を上回ったか。
5	学校管理 学校運営	①事故不祥事の未然防止を徹底するとともに、教職員の実践的指導力を向上させる。 ②生徒の防災意識を高め、防災教育を推進する。 ③教員や生徒、保護者など学校関係者が協力した、式典を事故なく執り行うとともに、生徒の学習成果発表などを積極的に発信する。 ④教員のライフワークバランスを推進するため教員の働き方改革を推進する。	①事故不祥事防止のさらなる徹底を図る。 ②防災教育の充実を図り、生徒一人ひとりの防災意識と防災対応能力を高める。 ③充実した式典等の学校行事に取り組む。 ④長時間勤務を是正する。	①事故不祥事防止に係る研修会を充実させるとともに、教職員の相談しやすい環境を整える。 ②生徒・保護者に対して、災害時の行動について啓発できるような安全指導対策を実施する。 ③関係部署と緊密な連絡をとり、式典が滞りなく進行するよう努める。 ④「ノー残業デー」を実施するとともに、勤務時間内の会議を徹底する。	①事故不祥事がゼロであったか。 ②防災教育として、大規模災害時を想定した生徒・保護者・教員・地域が連携した訓練を2回実施できたか。 ③式典を滞りなく進行することができたか。 ④月2回以上「ノー残業デー」を実施できたか。 勤務時間を超えずに会議を行うことができたか。

